

台湾

台北

参加費用  
(目安)

34～39 万円

本学支援金

約9万3千円適用後

※その他必要な費用や支援の詳細は26ページにて確認してください。

留学期間(日本発着)

2026年8月9日(日)～8月29日(土) 21日間

【出発】関西空港

## おすすめPOINT

- ▶ 実用的な中国語の語彙と発音を学べる!
- ▶ 様々な文化授業や校外授業を選択できる!
- ▶ 現地学生との交流会に参加できる!

## 都市・大学紹介

都市	大学の所在する台北市は、台湾の首都であり、賑やかなショッピング街や近代的な建物があり、台湾の経済、政治、文化の中心地。屋台で食べ物が売られる活気ある風景や、大規模に催される多くの夜市でも知られています。
大学	1946年に台北市の文化教育の中心として設立され、中等教育に携わる教師を養成する大学として有名。現在の台湾において先進的な中国語・中華文化の教育機関で万全の設備があります。

## スケジュール

出発	台湾・台北へ 【航空会社】チャイナエアライン
滞在中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 09:10-12:10 言語授業(休憩あり)</li> <li>・ 14:00-16:00 文化授業(休憩あり)</li> <li>・ 16:00- 大学施設を利用した自主学習、郊外授業</li> </ul> 週1～3回、現地学生と交流 ・ 週末・祝日 Free Dayまたは郊外授業
帰国	日本へ

形態	オープン型(他国と日本の他大学生を含む)	人数	10～24名 ※書類選考にて参加者を決定
滞在	ホテル(2～3名/1室基準)	食事	朝食
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)		
要件	語学要件：なし(語学カスコアは任意提出) ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：不要/パスポート有効期限：出国日まで		
その他	別途、食費(朝食を除く)が必要です。		

## 【全学副専攻科目としての単位取得について】

※対象：2回生以上で、国際関係、文、産業社会、経済、各学部所属にて中国語コミュニケーションコース履修者のみ。

通常授与される単位科目に読み替えて、派遣先での研修言語に該当する語種の副専攻科目として単位授与とできる場合があります。(通常授与の単位科目は募集要項より確認)応募前に所属学部事務室へ副専攻科目として単位の授与を受けられるかを確認してください。

## プログラムの特徴

- 語学学習と国際的視野を養う、海外留学の入門プログラムです。社会・文化・政治・経済・歴史事情を軸とする講義を中国語で受講し、台湾に対する理解を深めます。
- 国立台湾師範大学(台北市)の国語教学センターが提供する Summer Course を受講します。
- 言語授業：授業は実用的語彙、文型構造と発音練習を重点に授業をい、さらに聞く、読む、話す能力の強化を図ります。
- 文化授業：「カンフー」「中国ヨーヨー」「書道」「茶道」「中国絵画」「組みひも」「切り紙」「台湾語」「中国語発音」などから予定しており、国語教学センターが設定する5～7種類のうちから3種類を選び、参加することができます。
- 郊外授業：4種類のうち3種類を選び参加します。故宮博物院、鶯歌、三峡、十分、淡水や、名映画の舞台となった九份の見学などを通して、台湾文化の理解を深めます。

報告書/参考資料

